



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月26日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)葉口 明宏 (TEL)0797(32)8591
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,801	△8.4	362	△20.5	374	△33.9	279	△37.8
28年3月期第1四半期	4,148	8.8	455	114.1	566	66.8	448	66.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 156百万円(△64.5%) 28年3月期第1四半期 440百万円(74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.80	8.76
28年3月期第1四半期	14.08	14.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	36,422	26,422	72.0
28年3月期	35,346	27,062	75.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 26,211百万円 28年3月期 26,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	4.8	1,540	21.0	1,570	7.3	1,130	6.6	35.76
通期	18,700	7.2	2,580	19.8	2,690	10.1	1,980	10.6	62.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	32,421,577株	28年3月期	32,421,577株
29年3月期1Q	761,484株	28年3月期	620,044株
29年3月期1Q	31,702,547株	28年3月期1Q	31,887,262株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における医薬品業界は、政府の医療費抑制政策が続く中、本年4月に薬価改定が実施されるなど事業環境はより一層厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、昨年策定した5ヶ年中期経営計画『飛躍』に基づき、主力製品の販売促進と自社技術を生かしたライセンス事業の推進に取り組みました。

営業面におきましては、主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」が薬価引下げの影響を吸収して売上が伸長するとともに、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤（腎性貧血治療薬）「エポエチンアルファBS注JCR」および本年2月に発売した再生医療等製品「テムセル®HS注」につきましても、期初計画どおり順調に推移いたしました。

研究開発面におきましては、希少疾病であるファブリー病の治療酵素（アガルシダーゼベータ）製剤のバイオ後続品（開発番号：JR-051）および持続型赤血球造血刺激因子製剤（ダルベポエチンアルファ）のバイオ後続品（開発番号：JR-131）につきましても、臨床試験を順調に進捗させております。このほか、患者様のQOLのさらなる改善が期待される持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）など様々なテーマの研究開発につきましても順調に進捗しております。また、本年4月に新たな治験薬製造センターおよびセルプロセッシングセンターが竣工し、血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を利用した画期的な新薬であるハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）や新たな再生医療等製品の開発を加速させております。

こうした事業活動の結果、医薬品事業におきましては本年4月の薬価引下げの影響はありましたが、主力製品である「グロウジェクト®」および「エポエチンアルファBS注JCR」はともに前期に引き続き販売数量が順調に伸長したことにより、売上高はそれぞれ25億70百万円（前年同期比1億83百万円増）、9億78百万円（前年同期比1百万円増）となりました。本年2月発売の再生医療等製品「テムセル®HS注」も売上に寄与した一方で、尿由来製品および抗がん剤原体が前年同期比で減収となったことなどにより、医薬品事業の売上高は36億77百万円（前年同期比3億68百万円減）となり、医療用・研究用機器事業の売上高1億24百万円（前年同期比21百万円増）を合わせた当社グループ全体の売上高は38億1百万円（前年同期比3億46百万円減）となりました。

利益面におきましては、売上高減収の一方で売上総利益は25億71百万円（前年同期比46百万円増）となりましたが、研究開発テーマの進捗に伴い研究開発費が7億76百万円（前年同期比75百万円増）となったことなどにより、営業利益は3億62百万円（前年同期比93百万円減）、経常利益は3億74百万円（前年同期比1億91百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億79百万円（前年同期比1億69百万円減）となり、期初予想どおりの傾向となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は364億22百万円（前連結会計年度末比10億76百万円増）、負債合計は99億99百万円（前連結会計年度末比17億15百万円増）、純資産合計は264億22百万円（前連結会計年度末比6億39百万円減）となりました。

流動資産は、有価証券および受取手形及び売掛金が減少した一方で現金及び預金およびたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ9億94百万円増加して193億60百万円となりました。固定資産につきましても、投資有価証券が減少した一方で有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ81百万円増加して170億62百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金および未払金が増加した一方で未払法人税等が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少して58億76百万円となりました。固定負債は、長期リース債務が減少した一方で長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ19億6百万円増加して41億23百万円となりました。

純資産につきましても、四半期純利益を計上した一方で配当金の支払いおよび自己株式4億76百万円の取得などにより、前連結会計年度末に比べ6億39百万円減少して264億22百万円となりました。

これらの結果、第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.9ポイント低下して72.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期累計期間の連結経営成績は前年同期比で減収減益となりましたが、期初予想通りの傾向であり、平成29年3月期の業績予想に関しましては、平成28年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産および繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産および繰延税金負債の額との差額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金およびその他の包括利益累計額に加算しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(投資その他の資産)および利益剰余金がそれぞれ55,397千円増加しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間における営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,948,605	4,955,590
受取手形及び売掛金	5,384,377	4,846,829
有価証券	1,926,989	213,265
商品及び製品	1,582,482	1,709,114
仕掛品	1,135,086	1,260,044
原材料及び貯蔵品	4,625,293	5,005,975
その他	1,763,403	1,369,809
貸倒引当金	△3	—
流動資産合計	18,366,235	19,360,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,544,593	4,914,371
土地	3,882,338	3,882,338
建設仮勘定	396,177	75,915
その他(純額)	2,621,879	2,777,946
有形固定資産合計	11,444,988	11,650,571
無形固定資産	83,996	79,497
投資その他の資産		
投資有価証券	4,247,640	4,120,768
その他	1,226,848	1,234,337
貸倒引当金	△22,915	△22,915
投資その他の資産合計	5,451,573	5,332,190
固定資産合計	16,980,559	17,062,258
資産合計	35,346,794	36,422,887
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	783,372	693,725
短期借入金	1,760,280	1,783,615
未払法人税等	764,170	189,379
賞与引当金	481,266	763,238
役員賞与引当金	76,520	95,650
その他	2,201,440	2,351,198
流動負債合計	6,067,049	5,876,806
固定負債		
長期借入金	646,800	2,638,400
債務保証損失引当金	358,519	354,655
退職給付に係る負債	566,341	568,888
その他	645,343	561,231
固定負債合計	2,217,003	4,123,175
負債合計	8,284,052	9,999,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061,866	9,061,866
資本剰余金	10,961,049	10,963,740
利益剰余金	6,930,146	6,881,198
自己株式	△781,615	△1,220,735
株主資本合計	26,171,447	25,686,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	587,933	486,758
為替換算調整勘定	205,840	171,574
退職給付に係る調整累計額	△145,560	△132,781
その他の包括利益累計額合計	648,213	525,551
新株予約権	242,323	210,496
非支配株主持分	757	787
純資産合計	27,062,741	26,422,905
負債純資産合計	35,346,794	36,422,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,148,052	3,801,341
売上原価	1,623,418	1,229,810
売上総利益	2,524,633	2,571,530
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	2,069,385	2,209,499
営業利益	455,248	362,031
営業外収益		
受取利息	6,143	4,837
受取配当金	12,402	11,208
為替差益	2,726	5,382
補助金収入	98,224	—
その他	2,735	2,035
営業外収益合計	122,232	23,465
営業外費用		
支払利息	8,599	7,175
その他	2,678	3,820
営業外費用合計	11,277	10,996
経常利益	566,203	374,500
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	3,490	3,864
特別利益合計	3,490	3,864
特別損失		
固定資産処分損	17	919
特別損失合計	17	919
税金等調整前四半期純利益	569,675	377,445
法人税、住民税及び事業税	244,121	155,146
法人税等調整額	△123,441	△56,870
法人税等合計	120,680	98,276
四半期純利益	448,995	279,168
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,955	279,138

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	448,995	279,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,883	△101,175
繰延ヘッジ損益	1,896	-
為替換算調整勘定	890	△34,265
退職給付に係る調整額	9,684	12,779
その他の包括利益合計	△8,411	△122,661
四半期包括利益	440,583	156,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,543	156,476
非支配株主に係る四半期包括利益	40	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。